

水稻用育苗培土

くみあい成苗培土H

包装：20kgポリ袋

◆特 長

- 成苗培土Hは粉粒状で成苗ポット、ポットシート及び型枠用に適した培土です。pHは育苗に適した4.5～5.0に調整しており、は種プラントの適応性に優れています。

◆肥料成分添加量（g）

肥料成分	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO
1 kg 当たり（約）	0.34	0.68	0.54	0.14
1 箱 当たり（約）	0.5	1.0	0.8	0.2

◆1袋からとれる箱数（目安）

用 途	箱 数/20kg
床 土 の み 使 用	約14.0箱
床 土 ・ 覆 土 両 方 使 用	約11.0箱
ポ ッ ト シ ー ト	約11.0箱

◆使 用 法（みのる式成苗ポットの場合）

- ①成苗ポットに培土をすり切りまで詰めます。
 - ②掻き取りブラシで深さ2mmになるよう掻き取って下さい。
 - ③培土を十分な深さまで鎮圧します（9mm程度が望ましい深さです。鎮圧が不十分だと覆土が浅くなり根上りを起こす原因となります）。
 - ④消毒した催芽粉を1穴当たり2～3粒ずつ、は種して下さい。
 - ⑤覆土は成苗培土H、粒状ふくど、軽良培土かけ土用またはpHを4.5～5.0に調整した慣行土など（苗代土、山土等）を、箱面すり切りまで覆土して下さい。
 - ⑥かん水は成苗ポットの底まで、十分水がしみるまで（1箱当たり約1.2ℓ程度）行って下さい。
- ※他の育苗形式については、各様式の手順に従って一連の作業を行って下さい。

◆使用上の注意

- 健苗育成及び苗立枯病防除にタチガレン剤、またはタチガレエースM剤を使用し、かびの防除は防除基準に従って適正に行ってください。
- 置床から養分を吸収しますので、置床のpHの矯正、施肥、タチガレエースM剤の施用が必要です。
- 育苗中はかん水の過不足に注意し、適正な水管理を行ってください。（成苗ポットは乾きやすいので、かん水には十分注意して下さい）。
- 水分が高いので冬期凍結することがありますが、ご使用の場合は早めに、暖かいハウス等に搬入し解凍してご使用下さい。

- 堆積による圧縮、固結等が生じた場合は、ほぐしてからご使用下さい。
- その他の注意事項は610ページを参照して下さい。

※詳しい使い方については、地区農業技術指導機関または農協にご相談下さい。